

感染症 ひとくち情報

感染性胃腸炎(ノロウイルス等)にご注意ください



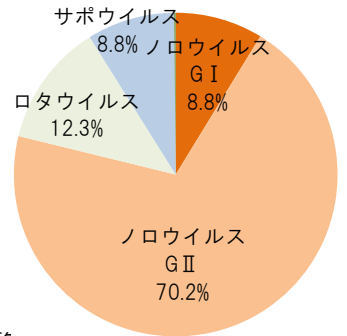
2016年11月24日

東京都健康安全研究センター

1 感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎とは、主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。原因となるウイルスには「ノロウイルス」「サポウイルス」「ロタウイルス」「アデノウイルス」などがあり、主な症状は腹痛、下痢、おう吐、発熱です。

2015-16シーズン ウイルス型別
検出割合 計57件



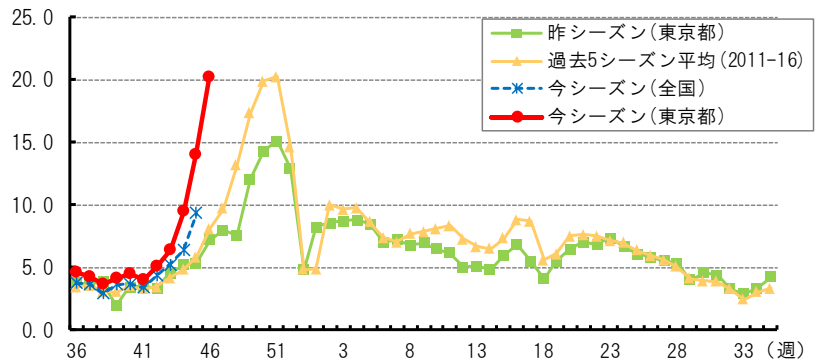
2 季節的に流行します

感染性胃腸炎は、例年、10月から増加し、12月頃をピークとして3月まで多発します。感染性胃腸炎の原因として最も多いものがノロウイルスです。

カキなどの二枚貝がノロウイルスを取り込んで蓄積し、これを生あるいは加熱不十分なまま食べて感染するほか、ノロウイルスに感染した調理従事者が汚染源と考えられる事例が多数確認されています。

また、食品以外の感染経路による大規模な集団感染も発生することがあります。

(人/定点*) 患者報告数の推移



3 予防のポイント

どのウイルスであっても予防のポイントは変わりません。

- こまめな手洗いを習慣づけましょう。特に排便後、調理や食事の前には、その都度、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- おう吐物やふん便を処理する時は、使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系の漂白剤）で処理しましょう。処理をした後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう（施設では処理用具のセットを予め準備しておきましょう）。
- ノロウイルスはカキなどの二枚貝に潜んでいることがあります。調理する際は、中心部まで十分に加熱しましょう（中心温度85～90℃で少なくとも90秒間の加熱が必要です）。

* **定点医療機関**：患者が多い疾患を把握するために受診患者数を報告している都指定の医療機関

* **シーズン**：感染性胃腸炎は流行時期に合わせ、毎年、第36週（8月末～9月初旬）から翌年の第35週までの1年間を感染性胃腸炎の流行シーズンとして情報提供を行っています。2016-2017年シーズンは2016年9月5日から2017年9月3日までです。

* 都内のノロウイルスの検出状況や、今年の流行状況をお知りになりたい場合は、東京都感染症情報センターの「感染性胃腸炎」のページをご参照ください。

感染性胃腸炎 東京都

検索

